



参加者のアンケート回答の中から、一部を紹介いたします。

こども教育研修会

〈第1回〉 5月26日(木)
 パネルディスカッション
 「幼児期にふさわしい生活を考える」
 (パネリスト: 保育園保育士・保育所副所長・認定こども園保育教諭・幼稚園教頭・子育て支援課保健師)

- ・こどもの育ちを支えている、市内のいろいろな立場の方の話を聞いて、学ぶことができました。
- ・体と心の発達は密接に関わり合っているということがよくわかりました。

〈第2回〉 6月9日(木)
 講話「心も体も育つ幼児期に必要な質の高い体験や活動」
 講師 渡邊 俊先生(幼児教育アドバイザー)

- ・こどもに「こう育てほしい」という保育者の意図、願いを込めて環境を構成しようと思いました。
- ・こどもが今何を体験しているのかを読み取ることが大切で、保育者の読み取り方により、環境を構成する内容が変わってくるということがわかりました。

〈第3回〉 6月23日(木)
 協議・グループワーク研修
 「保護者支援」
 ～理解と協働・信頼関係づくり～
 講師 田子 文子先生(幼児教育アドバイザー)

- ・こどものよさ、小さな成長を保護者に伝え、一緒に喜べる関係作りをしていきたいと思います。
- ・「園所全体で、組織的な対応を試みる」ということが大切だと強く思いました。
- ・他施設の方の実践を聞き、共感しました。

〈第4回〉 8月23日(火)
 講話「これからの幼児教育に求められるもの」
 ～幼児にとっての遊びの意味と遊びの読み解き～
 講師 明治学院大学教授 松永 あけみ先生

- ・こどもが主体的に活動することが、内面の成長につながるということがよくわかり、心の育ち(内面的世界)を大切にしたいと思いました。
- ・幼児期の教育が、社会人の育成への基盤になるということを心に留めたいと思います。

幼保小研修会

8月4日(木)
 講話「幼児期からの接続をなめらかにするために」
 ～支援が必要な子どもの幼保小連携の必要性～
 講師 東京学芸大学教授 橋本 創一先生

- ・こどものよいところを見つけて書く「ホメホメ日記」を、自分もつけてみようと思いました。
- ・発達の「遅れ」「かたより」「ゆがみ」の違いを理解し、障害なのか環境によるものなのか見極める力を持ち、こどもと関わりたいと思いました。

市立幼稚園保育研究会

7月1日(金)
 公開園 : 前橋市立宮城幼稚園
 テーマ「すすんで環境にかかわりじっくりと遊ぶ幼児の育成」
 ～「保育のイメージシート」を踏まえた幼児の姿の見取りと環境の構成を通して～

- ・自発的に行う活動が「遊び」、主体的な遊びが大切ということがわかったので、こどもが自分の思いを實踐できる保育をしたいと思います。
- ・「保育のイメージシート」が参考になりました。
- ・幼・保・小の職員が参加していて、研究協議でいろいろな立場の人の考えが聞けてよかったです。

【お知らせ】

幼児教育アドバイザーが14人になりました!

新しい幼児教育アドバイザー **大島みずき** アドバイザー: **群馬大学講師**

その他のアドバイザーは、幼児教育センターだより第62号をご覧ください。

